

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 作業療法専攻

No	科目名称	学年	単位	科目概要
1	コミュニケーション論	1	1	<p>「コミュニケーション」という言葉は日常的に用いられ、特に近年は「コミュニケーション能力」とされるものが社会の中で重要視されます。本科目では、私たちが日常何気なく行っている「コミュニケーション」について心理学的視点から学びます。さらに、これらの学びを通し、「よりよいコミュニケーション」とはどのようなものかを考えていきます。</p> <p>本科目は臨床心理士としての実務経験を有する教員が授業を行う。</p>
2	スポーツ・健康科学	1	1	<p>医療従事者になることへの意識づけとして、他者との情報共有や確認作業、相互理解を図るための手段であるコミュニケーション能力をチームスポーツを通して身につけることを目的とする。また、障がい者スポーツやユニバーサルスポーツを体験することにより、障害の有無や年齢に関係なく、誰でも参加できるスポーツの意義や特性を学び、理解を深める。</p> <p>本授業では、PC、タブレット端末を活用したグループディスカッション、また小テストの受験や課題提出などICTを活用した双方向授業、またプレゼンテーションによる競技紹介、グループディスカッションを通じて自己表現能力を育てる初年次教育を実施する。一部の授業を遠隔授業で実施する場合もある。</p> <p>中等教育機関において保健体育科の実務経験を有する教員が授業を行う</p>
3	運動学1	1	1	<p>理学療法・作業療法の目的は、患者の活動障害の改善である。</p> <p>1Gの地球環境下で皆さんは活動課題（寝返り、起き上がり、座位保持、立ち上がり、歩行そして日常生活活動）を達成している。患者さんにとって、これらの活動課題が難しいのは、何故なのか。</p> <p>運動（活動）を関節の動き、それを作り出す筋活動や重力、そして制御する神経系も含め、ヒトの動きがどのように達成されるのかを患者事例を含めて説明する。</p> <p>なお、本大学リハビリテーション部において実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>タブレット端末を活用した双方向性型授業を遠隔授業で実施する。</p>
4	人間発達学	1	1	<p>ヒトの発達について学習する。</p> <p>脳性麻痺を中心とした発達障害の概念を知り、その評価および治療について説明する。</p> <p>発達に関連する小児疾患とその治療およびリハビリテーションについて説明する。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション科において、医師の実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>タブレット端末を活用した双方向性型授業を実施する。</p> <p>本年度は新型コロナウイルス拡大防止をうけ、遠隔授業で実施する。</p>
5	臨床心理学	1	1	<p>人は生きていく中で様々な問題にぶつかる。すぐに解決できる問題もあれば自分だけでは思うように解決に至らない問題もある。</p> <p>臨床心理学は、そういった個々が抱える問題とどう向き合うか、問題を抱えながらどう生きていくかなど、心理的な問題の解決や改善援助を目標としている。</p> <p>この講義では、心理臨床の理論、検査、技術などを用いてこころの問題を測定、理解し、介入援助を行う方法について概説し、臨床心理学の基礎的知識の習得を目標とする。</p> <p>タブレット端末を活用した双方向性型授業を実施する。</p> <p>医療機関等において心理士としての実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>本年度は新型コロナウイルス拡大防止をうけ、遠隔授業で実施する。</p>

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 作業療法専攻

No	科目名称	学年	単位	科目概要
6	臨床栄養学	1	1	<p>私達の身体は数多くの物質から成り立っており、それらがひとつとして無駄もなく栄養素の代謝を繰り返して生命活動を維持している。さまざまな疾患はその代謝活動に何らかの支障をきたした結果、引き起こされるものであり、その前提となる正常な栄養代謝を理解する必要がある。「栄養学」は、健康を維持・増進するために欠かせない学問であり、近年、対象者の栄養状態や代謝能力など把握し、適切なリハビリテーションを実施する重要性が見直されている。そのためにも、栄養学の基礎を学び、リハビリテーションに関わる分野・疾患に対応した栄養・代謝、その予防と治療について知識を習得させることを目標に講義をする。また、タブレット端末を活用した双方向性型授業を実施する。なお、本大学病院臨床検査部において臨床検査技師の実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>
7	基礎情報処理学	1	1	<p>情報リテラシー教育に対応している。具体的には以下の通りである。</p> <p>学修において情報通信技術（ICT）を有効に活用するための能力（情報リテラシー）が身につくよう、講義演習を行う。特に、コンピュータの仕組み、メールや情報検索などインターネットの利用方法、文書作成ソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの使い方などについて講義し、多様な情報の収集および分析、レポート作成やプレゼンテーション資料作成など情報のアウトプットに関する能力が身につくよう、あわせて演習を行う。</p> <p>本大学病院リハビリテーション部において実務経験を有する理学療法士が講義・演習を担当する。</p> <p>タブレット端末を活用した双方向性型授業を実施する。</p> <p>本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>
8	作業療法概論	1	1	<p>1) 作業療法の歴史、作業療法の核となる理論を説明する。 2) 現在、日本国内で実践されている代表的な作業療法について説明する。 3) 作業療法の事例を説明する。 4) 障害をおって生きている方の人生について説明する。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において実務経験を有する作業療法士が授業を担当する。</p> <p>本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>
9	作業療法理論	1	1	<p>臨床の作業療法士の仕事の内容を理解するためには、対象疾患、対象者、環境などを検討する際に必要な理論について知ることが重要である。そして、種々の作業療法の理論の全貌を知り、それらを臨床に適用させる際に、何らかの不具合が生じる場合、理論の修正が必要であることを認識する。その上で、臨床から、理論から、の双方向からのアプローチが、作業療法学を体系的に発展させることにつながることを理解する。このような講義を展開する。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>
10	理学療法概論	1	1	<p>本科目では、理学療法の歴史、定義、理論、プロセス、具体的手段、また理学療法に関わる社会的制度、その他の基本的知識について講義する。なお、本大学病院リハビリテーション部において実務経験を有する理学療法士が授業を担当する。</p> <p>本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 作業療法専攻

No	科目名称	学年	単位	科目概要
11	基礎作業学	1	1	作業・作業活動の分類や意義を理解し、ひととの関わりについて説明する。また、作業を治療に応用するための基礎知識について講義する。さらに、作業療法における作業分析の方法を知り、実際に作業分析を行う。 なお、作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。 面接授業だけではなく、一部の授業を遠隔授業で実施する。
12	検査・測定論 1	1	1	作業療法における評価・再評価の必要性について講義し、作業療法場面（発達障害・身体障害・精神障害・老年期障害・高次神経障害・職業関連）で用いられる主な評価方法について講義を行う。時に演習を用いることもある。 本学大学院リハビリテーション部において実務経験を有する作業療法士が授業を担当する。 本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。
13	検査・測定論 2	1	1	関節可動域測定(ROM)、徒手筋力検査(MMT)、機能形態計測について講義する。検査の目的と検査方法、検査時の注意点を講義し、2年次に開講される検査・測定論実習2のための知識を学習する。なお、本学大学院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を有する教員が授業を担当する。本科目は遠隔授業で実施する。
14	客観的臨床能力演習 1	1	1	臨床上必要な知識・技術・態度（特に態度）について、講義内容に記された項目について講義・演習する。学生同士の小グループ（模擬患者役、療法士役、実施内容確認役）に分かれ、各自に対し実技試験を実施する。 なお、本学大学院リハビリテーション部において、理学療法士・作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。 本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。
15	社会福祉学	1	1	社会福祉は、生活上なくてはならない社会制度を背景とした対人相談援助で、主に社会的弱者を対象とする。リハビリテーションとのつながりも深く、保健・医療・福祉領域では専門職の連携協働が求められる。本講義の目的は、社会福祉における概念、歴史、制度、課題および相談援助の考え方について学び、ソーシャルワーカーなど社会福祉専門職の役割を理解すること、さらに、リハビリテーション専門職としての認識を高めることである。また、相談援助技術について学ぶことにより、リハビリテーションに従事する上で必要な分析技法を身につけるための一歩となる講義内容を含んでいる。 理学療法士の実務経験を有する教員が授業を行い、一部の講義は障害者福祉施設に勤務する障害当事者および高齢者福祉施設の相談員が授業を行う。 この講義ではICTを活用する。 この講義では、初年度教育として提出物の期限遵守をサポートし、その成果を評価する。 本年度は対面授業を基本とするが、一部遠隔授業を実施する予定である。
16	レクリエーション・セラピー	1	1	理学療法専攻・作業療法専攻 合同で行う。 医療・保健・福祉の中で活用されるレクリエーションについて、概念と意義を学ぶ。 対象者に合わせたレクリエーションプログラムの立案方法や運営について学ぶ。 本学科において作業療法士の実務経験を有する教員が講義を行う。 遠隔授業で一部実施する。

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 作業療法専攻

No	科目名称	学年	単位	科目概要
17	基礎臨床見学実習	1	1	<p>病院（あるいは他の施設）での組織機構を知り、多種多様な専門職に接することを通して、チーム医療やリハビリテーションにおける理学療法士・作業療法士の役割と機能を学び、理学療法士・作業療法士としての資質を考える機会を持つ。</p> <p>高齢者や障害者の生活を支援する製品やサービスを学ぶために、国際福祉健康産業展への参加や藤田医科大学病院の見学、PBLを行う。</p> <p>なお、本学大学院リハビリテーション部において理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の実務経験を有する教員が授業を担当する。</p> <p>本年度は対面授業を行う。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>
18	運動学 2	2	1	<p>理学療法・作業療法の目的は、患者の活動障害の改善である。</p> <p>1Gの地球環境下で皆さんは活動課題（寝返り、起き上がり、座位保持、立ち上がり、歩行そして日常生活活動）を達成している。患者さんにとって、これらの活動課題が難しいのは、何故なのか。</p> <p>運動（活動）を関節の動き、それを作り出す筋活動や重力、そして制御する神経系も含め、ヒトの動きがどのように達成されるのかを患者事例を含めて説明する。</p> <p>なお、本学大学院リハビリテーション部において実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>タブレット端末を活用した双方向性型授業を遠隔授業で実施する。</p>
19	運動学実習	2	1	<p>身体運動に関する実データを中心に多様なデータを分析し、これらを解釈する実践的過程を通じて、データを利活用するための技術、およびデータリテラシーを身につける。分析結果とその解釈を発表するグループワーク等を行うことでヒト身体運動に関する基礎的理解を深めるとともに、データのまとめ方、プレゼンテーション技術について、タブレット端末を活用した双方向授業を通じて学ぶ。なお、本学大学院リハビリテーション部において理学療法士・作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。本年度は対面形式にて行うが、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p> <p>本科目は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）における教育プログラムの一部を担う。</p>
20	老年学	2	1	<p>人口の高齢化、老年学と老年医学の概念、老化と老化学説、高齢者の精神・身体機能の低下、高齢者の病態と疾患の一般的特徴、高齢者によく見られる症候、老年病、高齢者の栄養、高齢者薬物療法、老年医学的総合機能評価（CGA）、終末期医療と医療倫理について講義する。</p> <p>なお、本学大学院において医師の実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>タブレット端末を活用した双方向性型授業を実施する。</p>
21	運動学習理論	2	1	<p>リハビリテーション医療を実践するために、運動学習理論の理解は必要不可欠である。本科目では、運動学習の主要因子である動機づけ、転移性、行動変化、保持・応用について理解し、効果的な練習方法を考えるための基礎を身につけられるよう授業を行う。また、運動学習や運動制御に関わる神経メカニズムについて解説する。なお、本学大学院リハビリテーション部において理学療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>タブレット端末を活用した双方向性型授業を実施する。</p> <p>また、本年度は対面での実習を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>
22	検査・測定論実習 1	2	1	<p>基本的な評価について、主に神経学的検査の方法、判定と意義について学び、将来作業療法士として対象者の状態を正確に把握し、治療計画立案ができることを目指す。</p> <p>なお、本学大学院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。また、対面での実施を原則とするが、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 作業療法専攻

No	科目名称	学年	単位	科目概要
23	検査・測定論実習2	2	1	<p>作業療法に必要な評価項目の中で、関節可動域測定（ROM）、徒手筋力テスト（MMT）、機能形態計測の技術を習得する事を目的として実習を行う。</p> <p>本実習では、実技の獲得に必要な資料等をICTを用いて提示し、活用方法についても教示する。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を有する教員が授業を担当する。また、本年度は対面での実習を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>
24	検査・測定論3	2	1	<p>高次脳機能障害のさまざまな病態について講義する。また、その評価方法について学び、得られた結果を日常生活障害に翻訳する過程までを習得する。臨床的に使用頻度の高い評価バッテリーについて、具体的な実施方法についての理解を深めるよう説明およびグループワークをする。ICT活用で質問およびフィードバックをする双方向性授業をする。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部で作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>
25	作業療法評価演習	2	1	<p>作業・活動の遂行をどう評価するか、効果をどう評価するかについて講義し、グループで演習する。また、臨床で必須の疾患に沿ったレポート作成のポイントを学び、演習を通して作成技術を説明する。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>本年度は対面での演習を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>
26	義肢学	2	1	<p>義肢はリハビリテーションに必要な不可欠な治療手段である。様々な義肢が存在し、症例の残存機能、生活様式、要望により選択されるものである。療法士は義肢を障害に対抗するための有力な武器と認識して、詳しい知識を得る必要がある。切断と義肢について詳しく講義する。</p> <p>なお、本大学病院において医師の実務経験を有する教員が授業を行う。</p>
27	スプリント	2	1	<p>スプリントの実物を確認しながら、種類・適応・目的・固定の原理・作成手順について、基礎的な事を講義する。</p> <p>基礎を学習したのち、各疾患の特徴を捉え、どのタイプのスプリントが適応するのか、なぜ必要なのかを明らかにする。</p> <p>自助具についても実物を確認しながら、種類・適応・目的について基礎的な事を説明する。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によっては一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>
28	スプリント製作実習	2	1	<p>スプリントの適応や目的を理解し、スプリントの作製を実施する。</p> <p>特に同じ使用目的であっても、構造の異なるスプリントがいくつかある。そのため、疾患の特性やスプリントの構造より、スプリントの使い分けができるよう講義する。</p> <p>多種類のスプリントを作製することで、教科書には書かれていない作製する上での問題点、解決方法を明らかにする。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。また、本年度は対面での実習を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 作業療法専攻

No	科目名称	学年	単位	科目概要
29	日常生活活動学	2	1	日常生活活動(ADL)の概念・評価・動作分析について講義し、グループワークにて演習を行う。さらに、障害別の日常生活の特徴にも触れながら、福祉用具や生活環境について講義する。 なお、本大学病院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。 本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。
30	日常生活活動学実習	2	1	日常生活活動(ADL)について、それぞれの活動の特徴を理解する。また、ADLにおける福祉用具・自助具の知識を身につけ、その活用方法を理解する。さらに、グループワークにて自助具を考案・作製することを経験し、その理解を深める。 障害者のADLにどのような困難が生じるのか体験するとともに、その問題に対するOT介入の考え方を学び経験する。 なお、本大学病院リハビリテーション部において実務経験を有する作業療法士が授業を行う。 本年度は対面での実習を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。
31	作業療法治療学1－中枢1	2	1	脊髄損傷の障害像について講義する。また、脊髄損傷患者に対する作業療法評価を列挙し、問題点、ゴール設定、基本的な作業療法プログラムを解説する。 なお、本講義は当大学病院リハビリテーション部において実務経験を有する作業療法士が授業を行う。 本年度は対面授業を行うが、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。
32	作業療法治療学2－中枢2	2	1	脳血管疾患、中枢神経系の病態、障害像、予後について説明し、作業療法での評価と日常生活活動への治療的介入方法について講義・演習する。また基本動作や画像所見、特に上肢の運動障害に対しての治療の考え方、介入の組み立て方について講義・演習する。なお、本大学病院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。
33	作業療法治療学3－中枢3	2	1	神経変性疾患の病態と障害像について解説し、各疾患に対する作業療法評価と作業療法介入について講義する。 本講義は、タブレット端末等を利用し、ICTを活用した双方向型授業を行う。 なお、本大学病院リハビリテーション部で作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。 本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。
34	作業療法治療学4－中枢4	2	1	高次脳機能障害の検査結果を解釈する方法について、講義する。また、評価結果をもとに治療目標を決定し、治療的介入方法を決定する考え方について実際の事例を中心に説明する。ICT活用によって得た質問や疑問点についてはフィードバックや討論をすることで双方向授業を実施する。 なお、本大学病院リハビリテーション部で作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。 本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 作業療法専攻

No	科目名称	学年	単位	科目概要
35	作業療法治療学5－整形1	2	1	<p>外傷や炎症性疾患に起因する、手・前腕・上肢の損傷に対するリハビリテーションについて講義する。</p> <p>主な手の外科領域の対象疾患である末梢神経損傷、筋・腱損傷、骨・関節損傷、熱傷、乳癌などに関するリハビリテーションについて講義する。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>
36	作業療法治療学6－整形2	2	1	<p>各整形外科疾患の病態・障害像について講義する。</p> <p>各整形外科疾患における作業療法について、リスク管理を踏まえたうえで、作業療法の評価から作業療法を実施する為の知識・技術・態度について学ぶ。</p> <p>講義とグループワークを行い、「調べること」「知識の整理」「知識を用いること」「知識を振り返りまとめること」を通して、基本的知識の獲得と、系統だてた知識を深める。</p> <p>またタブレット端末等を利用し、ICTを活用した双方向授業の実施する。</p> <p>実務経験を有する作業療法士が授業を行う。</p> <p>本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>
37	客観的臨床能力演習2	2	1	<p>臨床上必要な知識・技術・態度（特に態度）について、講義内容に記された項目について講義・演習する。学生同士の小グループ（模擬患者役、療法士役、実施内容確認役）に分かれ、各自に対し実技試験を実施する。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において、理学療法士・作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>
38	コンピュータープログラミング	3	1	<p>工学、理学、医学をはじめとした幅広い専門的データ処理を行うためのプログラミング言語である「MATLAB」を活用して、変数、配列インデックス付け、算術演算、ループと条件付きステートメントなど、C言語やPythonなど様々なプログラミング?語と共通した基本的構造について講義する。また、実践的なデータサイエンス教育となるよう、企業の各種活動支援ロボット（機器）及びその基礎データを用いて実社会から得られた人間の行動データや生体信号についての比較を統計解析などを行い、また、これらの専門的解析を行うためのプログラミング技法（アップロード、信号処理、データ可視化など）を習得することで企業への問題解決策を提案できる能力を習得する。</p> <p>本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。なお、本大学病院リハビリテーション部において実務経験を有する理学療法士が授業を担当する。</p> <p>本科目は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）における教育プログラムの一部を担う。</p>
39	言語機能学	3	1	<p>コミュニケーションをとること、食事をすることは、人間が生きて活動するために欠かせない重要な機能である。本講義では、1.人だけが自由にことばを操るようになった背景、2.ことばを生み出す解剖学的・生理学的メカニズム、3.ことばを含めたコミュニケーションの機能、および摂食・嚥下のメカニズム、その発達、獲得、老化（減退）について学習する。なお、本大学病院リハビリテーション部において言語聴覚士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>

### 実務経験教員担当科目一覧

#### リハビリテーション学科 作業療法専攻

No	科目名称	学年	単位	科目概要
40	言語療法学	3	1	<p>言語聴覚障害の特徴とその発生機序、症状の概要を学習する。</p> <p>コミュニケーション障害と摂食・嚥下障害を疑似体験することにより、目に見えない障害である言語聴覚障害と摂食・嚥下障害に関して、障害によって生じる一次的問題と付随して生じる二次的問題について理解する。また、介助者の疑似体験を通し、介助者が抱える精神的、社会的問題についても同時に理解を深め、リハビリテーションの目的とあり方について深く考える。なお、本大学院リハビリテーション部において言語聴覚士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>
41	言語病理学	3	1	<p>理学療法、作業療法の対象となる方々の多くは、種々のコミュニケーション障害を合併している。患者を全人的に理解しリハビリテーションを行っていくためには、これら障害を理解し適切な対応をとることは必須である。本講義では、コミュニケーション障害を含む高次脳機能障害に関しての文献的研究とグループ討議により様々な側面から分析し、深く考察する。なお、本大学院リハビリテーション部において言語聴覚士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>
42	地域リハビリテーション学	3	1	<p>介護保険制度を中心に学び、地域リハビリテーションにはどのような関連施設や職種の人々が関わり業務が行われているかを学習する。</p> <p>具体的には介護老人保健施設での業務内容について説明し、疾患別の住環境整備や福祉用具の使用方法を理解する。また、生活行為向上マネジメント（MTDLP）についての概要を説明し、事例について学習する。</p> <p>本学大学院リハビリテーション部において実務経験を有する作業療法士が授業を担当する。</p> <p>本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>
43	職業関連活動学	3	1	<p>地域における理学療法士・作業療法士の役割も増え、障害を持ちながら就労を目指す人たちへの役割も求められている。</p> <p>就労支援に関する理学療法士・作業療法士の役割を修得するため、職業リハビリテーションの概要、障害者雇用の現状、就労支援施設における現状、就労支援のあり方、医療的援助におけるリハビリテーションの重要性や実施方法について講義する。また、国家試験に出題される内容についても解説、講義する。</p> <p>なお、就労支援の実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>
44	作業療法研究概論	3	1	<p>研究法の流れと、研究疑問を解決するための手法について解説をする。研究目的および意義の明確化、研究計画の立案、データの解析、文献レビューおよび考察をまとめる作業をグループワークで実際に経験し、小論文作成までを実施することで、研究に必要な手順を体得する。</p> <p>なお、本大学リハビリテーション部において研究解析の実務経験を有する教員が講義を行う。</p> <p>一部の講義を遠隔授業で実施する。</p> <p>本科目は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）における教育プログラムの一部を担う。</p>



実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 作業療法専攻

No	科目名称	学年	単位	科目概要
45	表面解剖学	3	1	機能評価の手段として視診、触診の位置づけについて学ぶ。具体的には体表から触れられる骨・筋の基礎的な触察技術を学び、筋の起始停止・神経支配・走行の理解を深める。 なお、本学大学院リハビリテーション部において実務経験を有する作業療法士が授業を担当する。 本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。
46	作業療法治療学7－内部障害	3	1	呼吸器疾患、循環器疾患、代謝疾患、悪性新生物の基礎知識とリスク管理、訓練プログラムについて講義する。 また、疾患による非活動性がもたらす悪循環と心理面や生活の質の悪化について説明する。 なお、本学大学院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を有する教員が授業を担当する。 本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。
47	作業療法治療学8－精神障害	3	1	精神障害の特性、および関連する治療や評価など作業療法の現状について学ぶ。 現在の精神科医療及び作業療法はその成立過程と社会変化から強く影響を受けているため、その点についても学ぶ。 授業は、精神科作業療法の臨床で10年の実務経験を有する教員が講義形式で行う。 ICT活用として、オンラインでの資料配布、質疑応答を実施。また授業中にオンラインでの情報収集やグループでのディスカッションを行い、パワーポイントで発表資料を作成する。 本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。その際も、オンラインにて授業資料は配布するため、遠隔授業でも対面時と同様の内容の授業を実施する。
48	作業療法治療学9－小児	3	1	運動及び認知機能の正常発達について講義する。 発達障害作業療法の代表的疾患について講義する。 発達障害に対する作業療法について講義する。 なお、本学地域包括ケア中核センターにおいて実務経験を有する作業療法士が授業を行う。 本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。
49	作業療法治療学演習	3	1	作業療法治療学で学習した代表的な疾患（脊損、脳血管、運動器、精神）について理解を深める。 症例検討を通して、作業療法における評価・治療などの臨床思考過程を学ぶ。 演習の方法や内容は各疾患の特性に合わせて行う。 なお、本学大学院リハビリテーション部において実務経験を有する作業療法士が授業を行う。 本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。
50	作業学1－革細工・籐細工	3	1	作業療法の治療手段である革細工・籐細工を実施する。作業を治療に用いる際に必要となる基本的な知識と技術を習得する。作業を実施する際の動作を分析し、その結果から作業療法治療計画立案が出来ることを目指す。 なお、本学大学院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。 本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。

### 実務経験教員担当科目一覧

#### リハビリテーション学科 作業療法専攻

No	科目名称	学年	単位	科目概要
51	作業学2-木工・陶芸	3	1	<p>作業療法の代表的アクティビティである陶芸・木工について学ぶ。</p> <p>作品を制作を通して作業分析・動作分析を行い、作業工程や道具を覚えるとともに、各作業の特徴を知る。</p> <p>また、臨床的効果とリスクを知り、作業療法での治療的応用を考察する。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を有する教員が授業を担当する。</p> <p>本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>
52	客観的臨床能力演習3	3	1	<p>学生同士の小グループ（模擬患者役、療法士役、実施内容確認役）に分かれ、講義内容に記された項目を通して臨床上に必要な能力低下に対する介入および動作分析について学習し、各自に対し試験（客観的臨床能力試験：OSCE）を実施する。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において、理学療法士・作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>
53	地域作業療法学1-高齢者・身障	3	1	<p>老年期の特徴と障害について講義する。特に、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 老年期障害に対する作業療法の評価、介入方法、社会資源、関連制度について講義する。</li> <li>2) 認知症の疾患の種類、症状、接し方について講義する。</li> </ol> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を有する教員が授業を担当する。</p> <p>本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>
54	地域作業療法学2-精神・児童	3	1	<p>地域における作業療法の役割と地域における作業療法の実践を学修する。</p> <p>地域での精神保健福祉領域、小児発達領域での作業療法実践を学び、包括的な保健・医療・福祉サービスや教育に貢献する作業療法のあり方について学修する。</p> <p>なお、精神科作業療法の実務経験、地域での子ども分野の実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>
55	臨床研究	4	2	<p>担当教員の指導下、班別の研究活動を行う。具体的には各学生、グループがテーマを決め、学生自ら実験の計画、データ収集、分析ならびに発表を行う。最終的には卒業論文としてまとめる。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において理学療法士・作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>本年度は対面授業を行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、一部遠隔授業で実施する場合もある。</p>
56	地域リハビリテーション学実習	4	1	<p>臨地実習での経験を通して、臨地実習指導者の指導・監督のもと、地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割を理解し、地域包括ケアシステムに関与する関連専門職の役割を理解する。なお、一部は本大学病院リハビリテーション部において理学療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p>
57	作業療法学特論	4	1	<p>作業療法士が対応する多彩な障害像を把握し、現状の作業療法で行われている評価法、治療法について考察する。臨床思考過程における、評価結果からのICFを用いた生活および個人の全体像の把握を行い、問題点の抽出をする。さらに作業療法介入へ思考を進めるための講義をする。これらは国家試験問題の内容に沿って実施し、国家試験に必要な知識の定着を目指す。</p> <p>ICT利活用による自主学習教材を提供する。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部にて作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>本年度は遠隔授業を行う。</p>